





意外と 熱海物語



「熱海なら近いから…いいけど」

そうとしか答えられなかつた。

最近避けているのを感じたのか

父が家族旅行を計画してきた。

そういうところがまたうつとうしい。

久しぶりに乗る熱海行きの在来線。

小さい頃、夏は海水浴、冬は温泉旅行。

車のない我が家はいつもこの電車だった。

「お父さん、いつも窓から海を見てたね」

最近、白髪が増えたなあ、こんななんだっけと

言おうとしたけど気遣いというのが

私にもあつたんだ、と自分を再発見。

「お父さん、私ね…」

話をしたかったのは私の方だったかも。

やつぱり親子つていいなあ。

意外と熱海つていいなあ。



熱海駅。ゆったりと電車に揺られて、旅の始まり。ひと息ついて、駅で待ち合わせ。

◎JR東海道本線(東京・熱海間)

○快速アクティーで東京から約90分

普通で約110分



熱海駅前の商店街。



東京から熱海へは在来線快速で約一時間半、意外と早い。海沿いを走る電車からの眺めは、車や新幹線とは違った、海の広さを感じます。ゆったりとした電車のリズムと美しい景色に心が和らぎ、自然に会話もはずむ電車のたびです。

熱海駅に着くと、どこか懐かしい雰囲気のまちがお出迎え。観光客待ちの運転手、レトロな商店街、急がない人たち。いつの間にか懐しい日常のことなど忘れ、気持ちを自由にさせてくれます。それが熱海の魔法なのかもしれません。



雨の日の観光プランとしてもオススメ。途中下車をしてスイーツ巡りも楽しい。

◎平日13便、土日祝18便、バス停16ヶ所
◎9:45～16:15(土日祝は9:30～)

*平日の13便と土日・祝日の1便・4便・8便・11便・14便・18便には、ボランティアガイドは乗車しません。

◎TEL 0557-85-0381(伊豆東海バス)
◎運休日/無休
◎<https://www.tokaibus.jp/>



赤と青のバス停が目印。



まち歩きも良いけど、坂道を避けて熱海の街をぐるりと観光したいなら熱海市内の名所巡り「湯～遊～バス」がオススメ。約40分で市街地を一周できます。市内の名所を一度に周れるこのバス、いちばんの見どころは地元のボランティアガイドさんです。その軽快なトクに魅了され、途中下車せず一周してしまうお客様もいるそう。それぞれのガイドさんが独自の視点で熱海を語ってくれるので、乗るたびに新たな発見があります。

旅館や土産物屋が立ち並ぶつくられた温泉街とは異なり、商店街など暮らしの中に温泉街がある熱海。店と店がひしめき合う細い路地をすり抜けると、目の前に広がる海の景色——海に向かっていくつもの細い路地がのびる渚町では、こんなうれしい偶然に出会えます。

日賣き通りの銀座商店街も一本裏道に入れば、スナックやバーが立ち並び夜の情緒が漂います。路地を制覇したら熱海ツウ。偶然の出会いを求めてふらりと路地を歩いてみては。



渚町の路地では、レトロな長屋の間にリノベーションがされた建物も。古き良きものを残しながら生まれ変わるのが、熱海の魅力。



◎熱海市渚町(糸川沿いから親水公園周辺)
◎熱海市銀座町(銀座商店街から初川沿い)

人口わずか3万7000人の熱海。こ

の小さなまちを歩いていて気がつくのは、意外とお菓子屋さんが多いということ。旅館の「お茶請け」としてお菓子文化が根づいたこともありますが、ほかにも温泉街である熱海とお菓子には意外な関係があります。歴史をさかのぼること明治21年、健康のすぐれなかつた大正天皇のために温泉地初の御用邸が熱海に建てられました。そこに唯一、出入りを許されていた和菓子店が「わかなや」。御用達だった「糸切り団子」や「きび餅」は、



創業百年を超える老舗の和菓子店「わかなや」。

熱海のフルーツや旬の素材でつくる
フランス菓子の店「菓子の木」。



店名に「パン」がつくのに和菓子を売っているお店「来の宮健康パン」。
名物は「みたらし団子」。来宮神社の参拝の帰りに立ち寄って。

創業百年を超える今も当時と同じ原料と製法でつくられています。ほかにも昭和

25年の熱海大火を逃れ、昭和の宮造りの建築美が残る「本家ときわぎ」、昭和のスイ

ツ男子・谷崎潤一郎に愛された「MONT

BLANC」など、一つひとつの店舗に歴史やストーリーが息づいています。

歴史ある菓子店を誇る熱海ですが、新たなスタイルのお店も登場しています。まち中の小さな喫茶店が前身の自然の恵みを感じるダイニング＆カフェ「KINOWA 季の環」は、熱海にゆかりのある食材を使

用した手作りのお菓子が並びます。また、大楠をイメージした外観が目を引く「パン

樹久遠には、地元で愛され続けるパンやお菓子がたくさん。

そんな今なお進化を続いている熱海のお菓子を「もっと気軽に味わってもらおう」と、地元菓子店と旅館やホテルのおかみさんたちの協力により誕生したのが「意外とスイーツ」。熱海のお菓子を知り尽くしたおかみ推薦の銘菓が好評です。熱海の春は梅や桜など花が美しく、花がテーマのお菓子を味わうのも楽しみです。



熱海のお菓子文化を支える店主のみなさん。お菓子のように、やさしく温かい雰囲気です。

①格式高い格天井など伝統的な建築美が光る「本家ときわぎ」。

②木のぬくもりを感じるダイニング＆カフェに生まれ変わった「KINOWA 季の環」。

③わかなやの「きび餅」 ④三木製菓の「バタークッキー」

⑤NIKOLEAFの「クロカントロール 丹那トンネル」

⑥太田屋の「梅もなか 花舞い」

スイーツマップには、おかみ推薦の銘菓を掲載。



賓客たちが堪能した「粹」な舞をお茶・お菓子と一緒に気軽に堪能できます。

【熱海芸妓見番歌舞練場】

◎熱海市中央町17-13

◎最寄りのバス停／湯～遊～バス「起雲閣西口」、
伊豆箱根バス・伊豆東海バス「清水町」

◎TEL 0557-81-3575

◎営業時間・定休日

都度お問い合わせください。

◎「湯めまちをどり華の舞」公演

土・日曜日 11:00～(1回公演30分)、予約優先
臨時休演あり

◎<http://atami-geigi.jp/>



芸妓さんと記念写真も撮れます。



明治時代から要人や文化人をもてなしてきた熱海。芸妓文化なしには語れません。土日に開演される「華の舞」では、賓客たちが堪能した「粹」な舞を普段着で鑑賞できます。帰り際には芸妓さんがお見送り。楚々とした華のあるおじぎ姿に和のおもてなしを再発見できます。舞に彩りを添える四季折々の装飾に注目するのも楽しみ方のひとつ。このまちに根付いた伝統文化を継承していく、芸妓さんの「心意気」に触れられます。



ジェット足湯に入りながら海の眺望を楽しめる、おもてなし満載の熱海城です。

【熱海城・熱海トリックアート迷宮館】

- ◎熱海市熱海1993
- ◎最寄りのバス停/湯~遊~バス「熱海城」
- ◎TEL 0557-81-6206(熱海城)
- TEL 0557-82-7761(熱海トリックアート迷宮館)
- ◎営業時間/9:00 ~ 17:00(入場は16:30)
- ◎定休日/無休
- ◎熱海城 <http://atamijyo.com/>
- ◎熱海トリックアート迷宮館 <http://atami-trickart.com/>



熱海城のすぐ隣にはトリックアートも。



懐かしい団体旅行の趣が残る熱海城。

高台からの眺望は格別です。春には桜と海の美しいコントラスト。きらめく夜景は「東洋のモナコ」の異名もうなづけるパノラマ。そして四季を通して熱海名物・海上花火を眼下に望める鑑賞スポットでもあります。

素晴らしい立地を誇る熱海城ですが実はこれ、お城のレプリカ。昔はホテルとして営業していたそう。歴史的には誰のものでもないお城で、自分だけのお気に入りの景色が見つかります。



4月はチューリップ、5・6月はバラなど、一年中花が咲く。ガーナーが毎日園内をお手入れします。

- ◎熱海市上多賀1027-8
- ◎最寄りのバス停/伊豆東海バス・湯~遊~バス
「アカオハーブ＆ローズガーデン」
- ◎TEL 0557-82-1221
- ◎開園時間/9:00~17:00(入園は~16:00)
- ◎休園日/12月・1月の火曜日
(12/29~1/3は営業)、荒天時は休園
- ◎<http://www.i-akao.com/garden/>



「COEDA HOUSE」では
オリジナルスイーツも楽しめます。



曾我山から相模湾にかけて、なだらかに続く丘陵地。柔らかな陽射しが降り注ぐこの丘には、季節の花々が咲き誇るガーデンが広がります。園内のオールドローズやイングリッシュローズは、愛好家をもうならせる美しさ。それをさらに際立たせているのは、背景となる熱海の空や海との調和です。

園内で一番眺めのよい場所にある隈研吾氏設計のカフェ「COEDA HOUSE」では絶景を目の前に、時間を忘れてのんびり。大きな空、海に思わず深呼吸したくなります。

曾我山から相模湾にかけて、なだらかに続く丘陵地。柔らかな陽射しが降り注ぐこの丘には、季節の花々が咲き誇るガーデンが広がります。園内のオールドローズやイングリッシュローズは、愛好家をもうならせる美しさ。それをさらに際立たせているのは、背景となる熱海の空や海との調和です。



ごし祭り山車コンクール

意外と 熱海物語



初めて乗る熱海行きの在来線。

車窓から海が見えて来た。

「家族で海水浴なんて子供の時以来だね」
年甲斐もなくダンナがはしゃぐ。

子供の頃は毎年熱海に来ていたらしい。

私は海水浴は乗り気では無いから

同意を求められても困る。

そもそも私は水着になる勇気がもう無い。

温泉目当てなのだ。

そして今日は家事を休む日なのだ。

ダンナと子供が波と戯れるのを見

ながら私はビーチで本を読む。

いや、読むのではなく持っているだけ。

だって一人を見ている方が楽しいから。

やつぱり家族つていいなあ。

意外と熱海つていいなあ。

咲くか咲かないか、その年になつて
みないと分からない——そんなちよつ
と気まぐれなジャカランド。熱帯アメリカ
原産の世界三大花木の一つで、いままで
は熱海の初夏を告げる花となりました。

開花は、おりしも傘の花咲く梅雨
シーズン。しとしと降り続く雨に下を
向きがちな季節ですが、ジャカランドを
見上げる人を見かけます。

「花が頭に落ちると幸運が訪れる」と
いわれているだけに、梅雨の熱海の意外
な人気者です。



◎熱海市東海岸町(お宮緑地から親水公園前周辺)
◎最寄りのバス停/伊豆箱根バス、伊豆東海バス「お宮の松」「サンビーチ」
◎TEL 0557-86-6218(熱海市役所 公園緑地課)
◎<https://www.ataminews.gr.jp/spot/335/>



街路樹がジャカランドなのは、温暖な熱海だからこそ。
小さな青紫色の花がブーケのように空を彩ります。



いろいろな表情を見てくれる熱海の海。船の上では地中海のリゾート気分も味わえます。

◎熱海市渚町2020-36

- ◎最寄りのバス停/湯~遊~バス・
伊豆箱根バス・伊豆東海バス「親水公園」
- ◎TEL 0557-52-6657
- ◎10:00~15:40(1日9便)、
遊覧時間30分
- ◎運休日/火曜日 ただし季節によっては運航
- ◎<http://www.s-m-atami.co.jp/sanremo/>
- ※当日の運航状況はホームページをご確認ください。



姉妹都市、イタリアの港町サンレモにちなんで命名された「サンレモ号」。潮風を感じながら、30分間の遊覧船の旅へ。言われてみれば船上から見る熱海は、どこか地中海の街並に似ているような気がします。

浜辺から見る海、山からのぞむ海、そして海上から眺める海。コンパクトな街なのに、意外にも海のさまざまな表情に触られるのも熱海ならではの魅力。船内展望室では、海の中にいるかのような不思議な景色にも出会えます。



the Kodama Forest Project／日没～23時ライトアップ

- ◎熱海市西山町43-1
- ◎最寄りのバス停/伊豆箱根バス
「福道町」「來の宮神社前」
- ◎TEL 0557-82-2241
- ◎社務所/9:00～17:00
- ◎茶寮 報鼓/10:00～16:30(平日)、
9:30～16:30(土日祝)
- ◎<http://www.kinomiya.or.jp/>



茶寮 報鼓では、お茶やスイーツが楽しめる。



「どうぞ楠の神さま。叶えてください」
樹齢約2100年、幹の太さ約24メートルもの大きなご神木を一周すると願いが叶う。そんなパワースポットとして人気を集めるのが來宮神社です。

お参りはたいてい朝ですが、來宮神社は意外にも夜の参拝も人気です。日が暮れるころ、大楠を中心とした神社の森には木靈をイメージしたオレンジ色の明かりが灯り始めます。川のせせらぎを聞きながら自然の温もりを感じられる、神秘的な夕べの過ごし方です。

「どうぞ楠の神さま。叶えてください」
樹齢約2100年、幹の太さ約24メートルもの大きなご神木を一周すると願いが叶う。そんなパワースポットとして人気を集めるのが來宮神社です。

開催され、各町内では山車の練り歩きの準備のため、大人と子供が一致団結。熱海の夜に熱風を吹かせます。

7月15～16日は「山車コンクール」が

病息災を願います。

約1300年前の旧暦6月15日、漁師の網にご木像がかかり、神託を受けて祀つたのが來宮神社の由縁。その故事にちなんだ例大祭「こがし祭り」が、毎年新暦の7月14～16日に盛大に執り行われます。笛や太鼓のお囃子にあわせ、天狗が神様の好物である麦こがしをまき、無病息災を願います。

約1300年前の旧暦6月15日、漁師の網にご木像がかかり、神託を受けて祀つたのが來宮神社の由縁。その故事に

來宮神社では、地域と訪れる人との絆

を深める場づくりも新たに行っています。宮司・雨宮盛克さんと近隣飲食店の店主さんが2013年に始めた「来福スイーツプロジェクト」では、神饌の麦こがしや橙などでオリジナル品を開発・販売。和菓子・洋菓子・パンなど今では50品

を越え、お土産としても人気です。

参道「宮坂」には、神社とまちをつなぐ憩いの場「結び葉」を開設。ひと息ついて、訪れる人を楽しませています。



●來宮 健康パンの「こがしまんじゅう」
●來宮 久遠の「來宮大楠 根っこパン」
●菓子の木 来宮店の「來宮大楠ロール」「福こがし」
●お休み処 宮前店の「麦こがしソフト」
●來宮神社のスイーツやコンフィチュール
●茶寮 報鼓の「麦こがし入りおしるこ」



「はじめまして」でもウェルカムの、懐しく粹な大人の社交場。 右頁／夜の糸川沿い。

◎熱海の夜を愉しもう
[https://www.ataminews.gr.jp
 /event/461/](https://www.ataminews.gr.jp/event/461/)



熱海の味、熱海割り
 「あたみだいだいサワー」で乾杯！



ひつそりとした路地のレトロな看板に灯りがつき、情緒あふれる大人の顔になる夜の熱海。一見静かなまち中ですが、秘密めいたお店の扉を開けると、そこは粹な大人の社交文化が広がる別世界。入りにくい佇まいほど、扉の先の発見は一度入ればクセになる「意外と熱い、熱海の夜」が感じられます。

客引きは一切ない、粹な熱海の夜。
 元芸妓さんなど個性豊かなママやマスター、地元や別荘住まいの方とお酒を楽しむのが、ソウの過ごし方です。



意外と 熱海物語



「え～熱海ですか～」

なぜ休日に会社の先輩と旅行しないといけないのか疑問だと嘆く後輩。

私たちは一見女子旅だが、

熱海好きの先輩、どっちでもいい私、そして断り切れなかつた後輩の旅だ。

在来線で熱海駅を超えて駅舎の可愛い来宮駅へ。

ここから熱海に入るのが先輩のこだわり。

そして熱海で紅葉を見るのも通っぽい。

温泉に入り、美味しいものを食べて、喋って。

先輩の包容力なのか並んだ布団効果なのか
恋話から会社の愚痴まで止まらない。

「先輩～、私ね～」

結局一番楽しんだのは後輩だったかも。

やっぱり仲間つていいなあ。

意外と熱海つていいなあ。



11月から12月、少し遅めの紅葉が楽しめるのも熱海ならでは。

◎熱海市桃山町26-2

◎最寄りのバス停/伊豆東海バス「MOA美術館」

※湯~遊~バス1日乗車券でも乗車可

◎TEL 0557-84-2511

◎開館時間/9:30~16:30(入館は~16:00)

◎休館日/木曜日(祝日の場合開館)、展示替え日

◎<http://www.moaart.or.jp>



ムアスクエアから眺める海の絶景。



2017年に改裝した美術館。展示室、海が一望できるロビーエリア、四季折々の景色が美しい庭園は、意外とアートファンでなくとも心豊かに過ごせます。も、秋はことさら芸術的。竹林を歩けば、樵亭や唐門など江戸時代の見事な建築文化と紅葉のコラボレーションが楽しめます。茶室「一白庵」では、本物の所蔵品を配した広間と窓からの紅葉に包まれ、古きよき和の世界にひたることができます。



「アールデコ」を基調にしたサンルーム。／右頁：当時の在りのままを再現したソファー

- ◎熱海市昭和町4-2
- ◎最寄りのバス停/ 湯～遊～バス「起雲閣西口」、伊豆箱根バス「起雲閣前」、伊豆東海バス「天神町」
- ◎TEL 0557-86-3101
- ◎開館時間/9:00～17:00
(入館は16:30まで)
(奥茶やすらぎ9:30～16:00)
- ◎休館日/水曜日
(祝・祭日の場合は開館)・年末
- ◎<http://www.city.atami.lg.jp>
/kiunkaku



奥茶室やすらぎで、一服。



その後、旅館として生まれ変わり、志賀直哉、谷崎潤一郎、太宰治など文豪たちにも愛されてきました。

各部屋から眺められる庭園は、四季折々、見る場所によつても異なる表情をみせ、情緒にあふれています。

名邸や庭園を観たあとに立ち寄る喫茶室でのひととき。美味しいお茶をいただきながら、今も呼吸を続ける文化財にふれ、当時の暮らしぶりを間近に感じることができる贅沢な空間です。



「スコット」のビーフシチュー。ちょっとびり贅沢なお店で、文豪たちに想いを馳せる。

【スコット 本店】

- ◎熱海市渚町10-13
- ◎最寄りのバス停/湯~遊~バス・
伊豆箱根バス・伊豆東海バス「銀座」
- ◎TEL 0557-81-9493
- ◎営業時間/12:00~14:00(L.O.)
17:00~19:30(L.O.)
- ◎定休日/木曜日



谷崎が好んで食べた
「MONT BLANC」のモカロール。

【MONT BLANC】

- ◎熱海市銀座町4-8
- ◎最寄りのバス停/湯~遊~バス・
伊豆箱根バス・伊豆東海バス「銀座」
- ◎TEL 0557-81-4070
- ◎営業時間/10:00~18:30(土日祝は~19:00)
- ◎定休日/水曜日(祝日の場合は営業)



上質な温泉に広大な海の景色、ゆつたり
流れる時間。都会の喧騒を離れ、肩の力を
スッと抜ける熱海は、訪れる人の創造力を
刺激します。明治から現代まで、数多くの
文豪がこの地で文学史に残る名作を生み
出してきました。レストラン「スコット」や
洋菓子店「MONT BLANC」をはじめ、
谷崎潤一郎や志賀直哉など、食通として名
高い文豪に愛された名店が今も残ります。
伝統の味から地元の家庭料理まで楽しめ
る多彩な熱海の食は、一般的の観光客から著
名人まで多くの人の心をつかんでいます。



東京に直送される魚は「網代の朝どれ魚」として一日おかれる存在に。

◎熱海を食べよう！地魚グルメ
[https://www.ataminews.gr.jp/
 /event/358/](https://www.ataminews.gr.jp/event/358/)



熱海の台所、網代港の朝5時。



穏やかな熱海の海は、魚が集まる好漁場。熱海、伊豆山、網代、初島と、いくつか港がある中でも、網代は古くから「京、大阪に江戸、網代」と言われ、栄えました。まちの漁港として、いまも熱海の食を支えている網代。港近くの店には、朝どれの魚が味わえると、グルメな人が訪れます。

新鮮な地魚料理は、熱海のまち中でも豊富です。海鮮丼、寿司、和食、洋食と、様々な味で地魚を料理に味わえるのが、熱海の食の魅力です。



朝食としても、グルメなお土産としても、さまざまな楽しみ方ができる干物。

【村越魚店】

◎熱海市中央町7-4

◎最寄りのバス停/湯~遊~バス「大湯間歇泉」、
湯~遊~バス・伊豆箱根バス・伊豆東海バス「銀座」、
伊豆東海バス「本町商店街」

◎TEL 0557-82-4087

◎営業時間/～20時頃

◎定休日/日曜日



金目鰯など珍しい干物も。



浮かぶ干物。熱海駅前や銀座通りなど市内の干物屋には、金目鰯や伊勢エビなど、お土産にぴったりの「ごちそうが並んでいます。一方で街の小さなお店に目を向ければ、意外な、堀り出しどもの、に出会えるかも。昔ながらの魚屋「村越魚店」には地元の人から、惣菜として親しまれています。魚について店主に教えてもらえるのも地元店ならでは。お店の人と交わした会話も旅の素敵なものになります。



昭和の趣と共に、当時の最先端のメニュー やサービスに触れられます。



老舗喫茶店の名物！ポンネットのハンバーガー。



熱海のまちを少し歩くと、意外と喫茶店が多いことに気がつきます。昭和から続く昔ながらの味を守っている純喫茶もあれば、カフェスタイルの新しいお店もあるなど、新旧入り混じった独特の喫茶文化。そこには保養地として栄えてきた熱海ならではの歴史がうかがえます。各界の要人や文豪などが頻繁に訪れた明治から大正、昭和の熱海。本物志向のお客さんの要望にこたえるために、熱海は当時の最先端のメニュー や設備を積極的に取り入れていました。

そういえば明治時代、市外通話が日本ではじめて開通したのも熱海。有事の際、保養中の要人に連絡が取れるようになると東京—熱海間に開通されたそうです。

そんな一流のお客さんばかりを相手に

商いをしてきた熱海。本物志向のお客さんは満足してもらおうと磨かれてきたメニューや技術は、今なお昭和の薰りをまとうままこの街に残っています。熱海の喫茶店にふらりと入れば、ランプシェードの黄色い灯りの下、香り高いコーヒーとともに一瞬にして当時にタイムス

リップできます。手軽につまめるサンドイッチやトーストなどの軽食メニューは意外と満腹になると、忙しいお休みの昼食としても人気です。

もちろん、止まつてばかりではありません。時代の最先端を走り続けてきた熱海は今も変わり続けています。商店街には地元食材を活かしたメニューで観光客にも地元の人にも愛されるカフェスタイルのお店も登場。古いけれど枯れてはいない。全盛期の文化を継承しながら発展し続ける、意外と「粹」な熱海の喫茶です。



●昭和の薰り漂うショーケース。あの文豪もこれを見ていたのかも。(パインツリー)

●喫茶サンバードの「クリームソーダ」 ●喫茶田園の「プリンアラモード」

●カフェプランタンの「自家製コーヒーゼリー」 ●Café Agirの「ピザ風トースト」



ゆっくりと散歩をしながら四季を感じる憩いの場所。

◎自由見学

梅まつり期間のみ有料

◎TEL 0557-86-6218

(熱海市役所 公園緑地課)

◎TEL 0557-85-2222

(熱海市観光協会)

◎<https://www.ataminews.gr.jp/spot/105>



明治19年に開園。



「もう京都に行かなくてもいい」
熱海梅園で紅葉を観た、ある人の言葉
です。日本で最も早咲きの梅で知られる
熱海梅園は、意外にも日本で最も遅い紅
葉が楽しめるスポットです。イロハモミ
ジやイチジヨウなど、いちめんに広がる
深紅の自然美に、公園内にかかる橋や川
のせせらぎ、小さな滝が紅葉の見事さを
さらに引き立てます。

自然美と造形美のコラボレーション
は見事。梅の時期だけでなく、実は年中
楽しめる意外なスポットです。



意外と熱海物語



「花火を見に行こう」

彼の誘いで冬の熱海に。

熱海は年に何度も花火大会をするらしい。

海岸線を走る車窓は陽が当たって心地良く
ほろ酔いぎみの彼は陽だまりにウトウト。
だから飲むなって言ったのに。

この人でいいのか、という疑問と

信じたい気持ちの間で何年か過ごしてきた。

このタイプは責任取らないよ、という

ありがたくない助言をする人もいる。

このままだダラダラ進むのだろうか。

そして花火はクライマックスへ。

「僕の両親の新婚旅行は熱海だったんだ」

来たー、ついに来たー。

やつぱり花火っていいなあ。

意外と熱海つていいなあ。



あたみ桜の時期、夜はライトアップされ昼夜とは一変。情緒的な雰囲気の中、ピンク色に包まれる冬の散歩が楽しめます。

坂道が多い熱海。中心部を流れる糸川沿いを山から海辺の親水公園へと下る遊歩道は熱海散策の中心です。



◎熱海市銀座町～中央町
◎最寄りのバス停/湯～遊～バス「大湯間歌泉」、
湯～遊～バス・伊豆箱根バス・伊豆東海バス「銀座」、
伊豆東海バス「本町商店街」



朝どれの新鮮な魚介類や、アシタバなどを使ったオリジナル丼を満喫。

◎熱海市初島

◎熱海港より定期便が運航

◎運行状況のお問い合わせ/

TEL 0557-81-0541

(富士急マリンリゾート)

◎初島区事業協同組合/

TEL 0557-67-1400

◎両合戦 2月中旬～3月中旬開催

◎<https://www.hatsushima.jp/>



飲食店が立ち並ぶ食堂街。



かつては漁師しか住めなかつた小さな島。それは熱海港からわずか30分の船旅でたどり着く離島「初島」。ここには、梅やあたみ桜が彩る市街地とは少し違う早春の楽しみがあります。

地魚の海鮮丼など、旬の味覚がずらりと並ぶ「両合戦」。2月中旬～3月中旬まで、店舗ごとに漁師たちがオリジナルメニューで腕を競い合います。晴れた日には富士山も望める初島。旬の味覚と雄大な自然、満点の星空を満喫できるグランピングも人気です。



多賀のエリアに広がる熱海だいだいの畑。11月末から収穫が始まり、黄色く熟すのは1月頃。

◎熱海だいだいグルメ
[https://www.ataminews.gr.jp
 /event/517/](https://www.ataminews.gr.jp/event/517/)



だいだいのマーマレードはお土産でも人気。



熱海で日本一の生産量を誇る「だいだい」。収穫しなければ実が落ちないところから、「代々栄える」と言われ、お正月のお飾りにも使われる縁起物です。
 はじめは江戸時代。紀州の船乗りが捨てた種を大切に育てたのがはじまりなのだとか。今では料理やスイーツにも使われる熱海の味になっています。
 熱海だいだいの新しい活用も始まっています。お酒を割るサワーや、香り高い花を使用したリラックス効果が高いアロマなど、可能性は広がっています。



伊豆のお湯の発祥の地・伊豆山神社。



伊豆山温泉が描かれた「箱根權現縁起巻」(部分)
個人蔵 写真 神奈川県立歴史博物館

伊豆山の地下では神の化身「赤白二龍」が温泉を生み出しているという言い伝えがあり、ふもとの「走り湯」は神湯として信仰されてきました。その昔、人々は走り湯の潔斎所にて身を清めてから参拝していたそうです。強運の神として知られる「赤白二龍」の姿は、境内の手水、社殿、お守りにも施されています。昔も今も人々を温め、見守り続けるお湯の原点です。



常盤木羊羹店總本店の銘菓「赤白二龍」。



横穴式の源泉「走り湯」は全国的にも珍しい史跡です。

【伊豆山神社】

- ◎熱海市伊豆山708-1
- ◎最寄りのバス停/
伊豆東海バス「伊豆山神社前」
- ◎TEL 0557-80-3164

【走り湯】

- ◎熱海市伊豆山604-3
- ◎最寄りのバス停/
伊豆東海バス「逢初橋」

徳川將軍家が江戸城まで温泉を運ばせ

た「御汲湯」の歴史が残る熱海の湯。首

都圏からほど近く、海・山・温泉に恵まれ

たこの地は、多くの文人墨客にも愛され、

別荘地として発展し続けてきました。

岩崎別荘、住友別荘と並び、熱海の三

大別荘として称賛された根津別邸には、

昭和22年に旅館・起雲閣として生まれ変

わって以降、日本を代表する数々の文豪

が訪れました。各部屋から眺められる庭

園は、見る場所によって異なる表情が楽

しめます。訪れた人を飽きさせない癒し

の風景も、文人たちに常宿として愛され
た理由のひとつかもしません。

昭和期には豪華な別荘が建ち並んで
いた街の景色は、時代とともにマンショ

ンが目立つようになります。最近では日帰りや素
泊まり、貸別荘、一軒家を丸ごと借りら
れるシェアハウスなど、実際にさまざまな

過ごし方が選べるようになりました。古
きよき熱海の別荘文化も時代とともに
進化し続けているのです。

そんな中、あえて温泉旅館で「湯治」
という王道の選択肢に立ち返るものも



旅館として多くの文化人に愛された起雲閣。美しい日本庭園は人々の心を癒してきました。

【起雲閣】

- ◎熱海市昭和町4-2
- ◎最寄りのバス停/湯~遊~バス「起雲閣西口」、
伊豆箱根バス「起雲閣前」、
伊豆東海バス「天神町」
- ◎TEL 0557-86-3101
- ◎開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
- ◎休館日/水曜日(祝・祭日の場合は開館)・年末
- ◎<http://www.city.atami.lg.jp/kiunkaku>





〈大観荘〉

横山大観も宿泊したとされる「特別室」。貸切露天風呂からは偉人が愛した海の景色が楽しめます。



〈古屋旅館〉

伝統的な数寄造りの「古屋旅館」。重厚感のある門構えからも歴史の奥深さがうかがえます。

【古屋旅館】

◎熱海市東海岸町5-24
◎TEL 0557-81-0001
◎<http://www.atami-furuya.co.jp/>



〈古屋旅館〉

【大観荘】

◎熱海市林ガ丘町7-1
◎TEL 0557-81-8137
◎<http://www.atami-taikanso.com/>

やつぱり良いものです。創業1806年の「古屋旅館」は、熱海七湯の源泉のひとつから湯を引く老舗旅館。露天風呂付きの客室では、源泉掛け流しの湯を時間を気にせずに堪能できます。また、かの横山大観が愛した「大観荘」では、美しい日本庭園を愛でながら懐石料理を楽しむ伝統的な和のもてなしを受けることができます。上質な湯に浸かる1泊2食付きの温泉旅館、いつもより少し着飾り、「品」や「格」を持ち帰るのも、意外と贅沢な旅の楽しみ方です。



一年中楽しめる熱海の花火。中でも澄んだ空にあがる花火の美しさは格別です。

◎観覧場所/

サンビーチ～熱海港まで海岸線一帯

◎最寄りのバス停/

伊豆箱根バス、伊豆東海バス、湯～遊～バス

「サンビーチ」「銀座」「親水公園」

◎TEL 0557-85-2222(熱海市観光協会)

◎年間十数回開催。詳しくはホームページで
ご確認ください。

◎<https://www.ataminews.gr.jp/event/8/>



花火は地ビール「熱海ビール」にも
描かれています。



昭和27年から続く、いまや熱海の定番行事。ホテルの窓辺から、露店の賑わいから、砂浜で寝転がりながらなど、自由きままに楽しめます。湾にきらめく花火の音は、ドーンと熱海中に響きます。

花火大会を盛り上げるのは、息つく間もなく打ち上る音と光のデジタルスクリーン。プログラムを担当するのは意外にも女性で、花火ツウは女性らしさを感じるとか。観客を想いながら演出を考える気持ちが通じているようです。



元証券会社の店舗では、リノベーションをしてカフェとジェラート店がコーナーを構える。
住む人と旅する人をつなぐ交流地点。

[caffè bar QUARTO]

[La DOPPIETTA]

◎熱海市銀座町10-19

◎最寄りのバス停/湯~遊~バス、伊豆箱根バス、
伊豆東海バス「銀座」、「サンビーチ」

◎caffè bar QUARTO 10:00～19:30
定休日/木曜日(他、不定休あり)

◎La DOPPIETTA 10:00～18:00
定休日/木曜日(2019.3～9末まで不定休)



観光客でにぎわう昭和の熱海銀座。

[ゲストハウスマルヤ]

◎熱海市銀座町7-8

◎0557-82-0389

◎<http://guesthouse-maruya.jp/>



かつて、たくさんの観光客でにぎわつた、その面影を色濃く残す「熱海銀座」。軒先に吊るされた干物や、メニューのサンブルが並ぶ純喫茶など、レトロな魅力が通りの歴史の長さを物語ります。

今ここは、昔ながらの面影は残しつつ新しいライフスタイルを生み出すリノベーションの発信地として生まれ変わっています。空き店舗はカフェやゲストハウス、コワーキングスペースとして新しい魅力にあふれています。住むように旅をする、人気の通りです。

意外と熱海物語



「久しぶりー。駅が新しくなったのね」
歳をとつても若い頃の面影のまま。

東京の私たちと名古屋の友達。

ちょうど中間の熱海駅で待ち合わせ。

東京で会つてもいいけど

温泉宿で会うのがお互い良いの。

温泉に入り旅館で食事をいただいた後は
行きつけのスナックへ。（年に一回だけ）
「ここはお父さんが朝まで飲んでた店でね」
そう主人は家族旅行なのにスナックに
行つたきり帰つて来なかつた。
観光客慣れしているからだらうか、
よっぽど楽しかつたのだらう。

女子旅からおじさんまで楽しめる熱海の夜。

意外と熱海つていいなあ。
やっぱり熱海つていいなあ。

意外と便利 熱海の路線バス

坂道が多い熱海で意外と活躍するのが熱海駅前発着の路線バス。「道草さんぽ」マップを見ながらまわればさらに意外な発見があるはず!

「道草さんぽ」

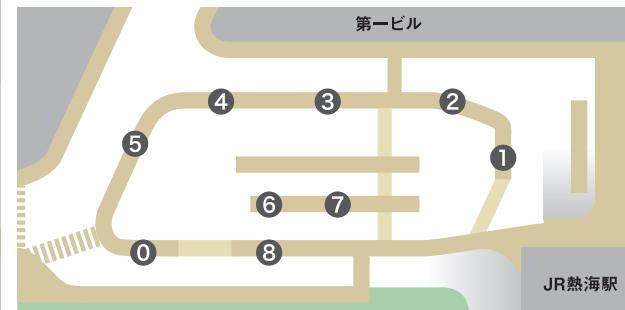
スイーツマップ配布中!

老舗の和菓子から、文豪が愛したケーキ、新しいお菓子まで、スイーツ通りで熱海の魅力がもっと発見できそう!

WEBサイトからご覧いただけます。
<https://www.ataminews.gr.jp/pamphlet/>



■観光地別 热海駅バスのりば



主な観光地のご案内

- | | |
|----------------|--|
| ●熱海市役所 | TEL 0557-86-6000 |
| ●熱海市観光経済課 | TEL 0557-86-6195
http://www.city.atami.shizuoka.jp/ |
| ●熱海市観光協会 | TEL 0557-85-2222
https://www.ataminews.gr.jp/
9:00~17:30(4月~9月)
9:00~17:00(10月~3月)
10:00~16:00(12月29日~1月3日)
年中無休 ※臨時休業あり |
| ●熱海商工会議所 | TEL 0557-81-9251 |
| ●熱海温泉ホテル旅館協同組合 | TEL 0557-81-5141
http://www.atamispa.com/ |
| ●熱海観光案内所 | 熱海駅ビル「ラスカ熱海」1F
9:00~18:00
※時季により異なります
休みはラスカ熱海の休館日に準ずる |
- ① 梅園・相の原団地方面
梅園・来宮循環 函南・三島(大場)方面
 - ② 笹良ヶ台団地・来宮神社・西山・箱根方面
 - ③ ひばりヶ丘・紅葉ガ丘・上の山方面
 - ④ 七尾団地方面 七尾原循環 伊豆山循環
 - ⑤ 伊豆山・湯河原方面
 - ⑥ 綱代旭町・桜ヶ丘・熱海自然郷方面
 - ⑦ 热海港・後楽園方面
 - ⑧ MOA美術館方面 ① 湯~遊~バス

伊豆箱根バス 热海駅前案内所 TEL:0557-81-8231
伊豆東海バス 热海事業所 TEL:0557-85-0381

掲載箇所の主な料金

P6 東京～熱海 在来線 電車運賃

大人片道1944円(ICカード)、1940円(切符)

P8 湯~遊~バス

1日乗車券／大人700円・小人350円、1回乗車／大人250円・小人130円

P16 热海芸妓見番歌舞練場 華の舞

大人1500円(お菓子・お茶付)

P18 热海城

大人1000円・小中学生500円・4~6歳350円

P18 热海トリックアート迷宮館

大人900円・小中学生450円・4~6歳300円

P20 アカオハーブ&ローズガーデン

大人1000円・小人500円(5/15~6/10は大人1300円・小人600円)

P28 遊覧船サンレモ

大人1200円・小人600円

P40 MOA 美術館

一般1600円・高大生1000円・シニア(65歳以上)1400円

P42 起雲閣

大人510円・中高生300円

●熱海市役所

TEL 0557-86-6000

●熱海市観光経済課

TEL 0557-86-6195

<http://www.city.atami.shizuoka.jp/>

●熱海市観光協会

TEL 0557-85-2222

<https://www.ataminews.gr.jp/>

9:00~17:30(4月~9月)

9:00~17:00(10月~3月)

10:00~16:00(12月29日~1月3日)

年中無休 ※臨時休業あり



掲載されている情報は2019年3月1日現在のものです。

諸事情により掲載内容・価格などが変更になる場合があります。おでかけ前にご確認ください。



熱
海
シ
ティ

igai
atami